



# 鳥取県

DATA	【人口】	536,556	人 (R5.12.1現在)
	【面積】	3,507	平方キロメートル
	【職員数】	5,237	人 (R5.4.1現在)

## 《発表のテーマ》

電子契約×RPA ～契約書の押印（電子署名）はロボットにおまかせ～

### <発表概要>

電子契約※1の導入により従来の押印に代わって新たに発生した「電子署名作業」について、RPA※2（ロボット）を導入（自作）することで自動化し、全庁の事務負担の軽減を図った。

- (※1) 電子契約…電子署名により、電子（クラウド）上で契約を締結するもの
- (※2) RPA…PC上の操作を記録して人の代わりに作業するソフトウェアロボット

### <改善運動の特色やアピールポイントなど>

RPA化により、押印（電子署名）をロボットが代行！  
現行ルールを改正することで、地方機関の電子署名も本庁の政策法務課に集中化し、全庁レベルで利便性を向上！

### <メッセージ・意気込み>

**RPA化と規程（ルール）の見直しで、業務効率化を実現しました！**



<p>部署名</p>	<p>鳥取県 総務部政策法務課</p>
<p>タイトル</p>	<p>電子契約×RPA        ～契約書の押印（電子署名）はロボットにおまかせ～</p>
<p>改善前 【Before】</p>	<p>令和5年8月より、「電子契約サービス」の運用をスタート        契約相手方事業者からも好評であったが、、        先行導入した県土整備部職員から、所属長又は文書管理主任        の新たな事務とされた「電子署名作業」が負担になっているとの        声が寄せられた。</p> <div data-bbox="571 970 1774 1187"> <p>起案      ダブルチェック      電子署名</p> <p>※電子署名は署名者のメールアドレスが記録されるためしかるべき権限のある者が担当</p> </div>

## 発想の転換

### 通常なら

- 署名作業を自動化するためシステム改修  
…改修費が100万円超え + 保守料が毎年数十万円必要

### 視点を変えて

- 電子契約 = 紙や公印が不要 + **Webブラウザ上で操作が完結**  
→人間じゃなくても**ロボット (RPA)** で操作できるのでは
- RPAは人間が記録した操作のみを大量に繰り返す  
…AIと違って人間の指示を超えて動作しない  
→人が**ダブルチェックした文書なら、**  
**ロボットが電子署名を行っても問題ないのでは**



## 取組内容

### 電子署名作業を自動化するため、RPA化に挑戦

デジタル改革課が主催するRPA研修に計4日間参加  
RPA開発相談会で助言を受けながら、職員自らロボットを作成



さらに、

- 押印(電子署名)に関するルール(文書管理規程)を改正
- 紙契約の場合は、各機関ごとに公印を押印
- 電子契約の場合は、本庁・地方機関も含めて、すべて政策法務課が電子署名を行う(=ロボットの処理範囲を拡大)

効果  
【After】

(改善の成果  
・取組の効果)

令和5年10～12月で  
300件超の電子署名を  
ロボットが自動で処理！

- ・高額な費用を要するシステム改修ではなく、RPAで対応  
→経費を削減
- ・現行ルールを見直してロボットの活用範囲を拡大  
→全庁の事務負担を軽減
- ・RPA化による業務を改善する文化を醸成  
→他にも文書管理システム操作ロボットを開発中！